

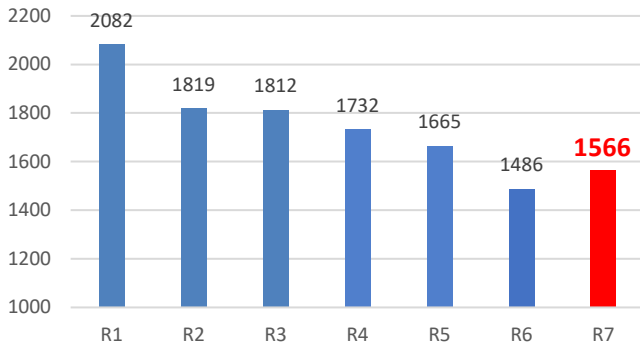


こどもたちとSNSを取り巻く現状



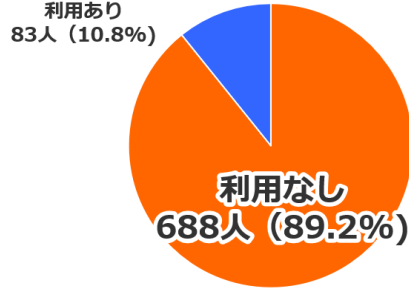
SNSを通じた犯罪被害が多く発生しています！

SNSに起因する事犯の被害児童数の推移



SNSに起因する事犯の犯罪被害者数全体は減少傾向にありましたが、令和7年、増加に転じました。

SNSに起因する事犯の被害児童のフィルタリング利用状況(令和7年)



SNSを通じて犯罪の被害にあった児童のうち、「フィルタリング」を利用していなかった児童は89.2%

参考：警察庁「令和7年における少年非行及び子供の性被害の状況」

実際の被害事例

■未成年者誘拐被害

SNSで知り合った人に悩みを相談していたら「慰めてあげる」などと言葉巧みに誘い出され、直接会いに行ったところ加害者の自宅に連れ込まれてしまった。



■児童ポルノ製造・提供被害

交際相手に裸の写真を求められ、「送ってくれないなら別れる」などと迫られ自分の裸の写真を送信してしまった。その後、交際を断ったところ逆恨みされ、インターネット上に自分の裸の写真が拡散されてしまった。



■ストーカー被害

お気に入りの店を友人に教えてあげようと思い、位置情報をオフにして撮影した写真をSNSに投稿したところ、投稿した写真の背景から撮影場所を特定されて、知らない人に付きまといられるようになった。



いつのまにか自分が加害者に!?

■無断で他人を撮影・無断で個人情報を公開

他人の写真や情報を勝手に掲載 **NG**
→プライバシーや肖像権を侵害するおそれがあります。

※他人にかかわる写真や情報を掲載する場合は事前に本人の了承を！



■誹謗・中傷・デマの投稿

・人の悪口や人がいやがるような書き込み **NG**
・悪ふざけの投稿 **NG**
→名誉棄損、侮辱罪、威力業務妨害罪などに当たるおそれがあります。

※法律違反・常識やマナーに反する投稿をしない。



被害にあわないために(保護者の皆様へ)

ルールを作りましょう！

こどもの発達段階・日常生活に見合ったルールを決めておくことが必要です。ルールを作る際は、ネットの危険性や使用目的を一緒に考え、こどもが納得できるルールとすることや、守れなかった時の対応を決めておくことも大切です。

【ルールの例】

- 利用場所・時間帯を決める
- 個人情報や顔写真を載せない
- パスワードは保護者が管理
- ネットで知り合った人とは会わない

フィルタリングの利用

有害なサイトへのアクセスや危険な出会いなどを防ぐためには**フィルタリング**が有効です。スマホ依存の防止にも効果的であり、居場所の確認機能も利用できます。

